

## 大阪府立大学の学生・教員が実証実験を視察

- 日 時 令和2年8月30日（日）10:30～15:30
- 場 所 大崎上島（広島県豊田郡大崎上島町）
- 主 催 大阪府立大学
- 協 力 CIFER・コア
- 参加者数 11名（大学院生7名、教員4名）

大阪府立大学が開講している環境人材育成教育プログラムの「国際環境活動特別演習」の授業の一環として、この度、履修している大学院生と担当教員が大崎上島を訪れ、漁場再生を目的に実施している実証事業を視察されました。

午前中は長島で実施中のアマモ場再生、大西港向山エリアで実施中の港内活用の実証実験の現場を視察頂きました。

午後は、大崎内浦漁業協同組合の事務所において、

- CIFER・コアの上嶋英機理事長（広島工業大学客員教授）から瀬戸内海を中心とした漁業の実態、CIFER・コアが実施中の実験の内容等の解説

- 同組合の中村修司組合長から、組合における漁業の実態、今後の活性化への思い、コロナ禍の影響等の解説

がありました。

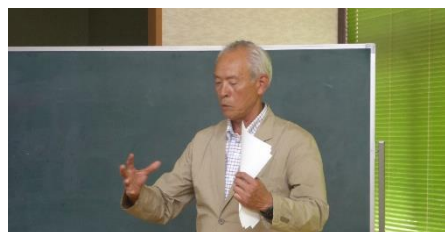
大学院生からはこれまで気にしていなかった漁業の実態を知ったことに加え、実証事業を推進している上嶋先生、漁業組合長の話を直接聞くことができたことが良かったという声がありました。



▲ 長島視察



▲ 大西港向山エリア視察



▲ 上嶋理事長、中村漁業協同組合長の解説